

ものづくりの裏側 vol.04

2026.2-3



Q デザイン力を高めるには？

株式会社マルニ
工務部制作課
N.Y.さん

Answer



デザインがなんとなくパツとしないときは、良いデザインをたくさん見ることと、原稿の内容や伝えたい意味を理解することを大切にしています。見た目だけでなく、意図を考えて作ることが上達への近道です。

Q 良いデザインをたくさん見るには？

Answer



街に出たときは、ポスターやチラシなど気になる印刷物を意識して見るようになっています。また、ネットやSNSで良いと感じたデザインを集め、引き出しとしてストックしておくことも参考になります。

Q 原稿をどう扱えばいい？

Answer

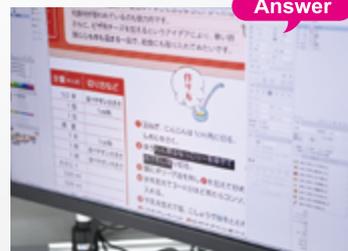


意味のない見出しや写真が大きく目立ったり、大事な文字が埋もれたりしないよう、まず原稿の内容を客観的に見るのが大切です。何を一番伝えたいのかを考えながら整理すると、配慮の行き届いたデザインになります。

Q プロっぽく見せるコツは？

Answer

全体のレイアウトを組んだ後こそが大切です。文字の詰め方や行間、余白など細部に時間をかけて調整すると、仕上がりがぐっと引き締まり、完成度の高いデザインになります。





工務部制作課
N.Y.さん (2007年入社)

デザイナーとして制作に携わる一方、課員へのデザイン指導も行い、部署全体のスキル向上に取り組んでいる。AIを活用した制作にも積極的で、ユニバーサルデザインに関する知識も豊富。

Interview 04

ものづくりの裏側で考えていることは？

デザイン指導を通して思うこと

課員にデザイン指導をする中で、大切にしているのは「情報がきちんと伝わり、かつ見た目も良いこと」です。見た目が整っていても、伝えたい内容が伝わらなければ意味がありませんし、情報が伝わっても、洗練されていなければプロの仕事とは言えません。両立してこそ、デザインだと思っています。指導の際は、課員が自信を持って出せるデザインに仕上がることを意識しています。迷いが残ったまま提出すると、見る人にもその不安が伝わってしまうからです。どうすれば良くなるかを一緒に考え、理由を言葉にしながら修正を重ねています。

子育て世代の働き方

共働きで、幼稚園と小学生の子どもがいるため、仕事が終わった後も家事や育児に追われる毎日です。定時に帰れるよう、限られた時間の中で仕

事を進める工夫が欠かせません。

デザインは、アイデアがまとまらないと時間がかかってしまいます。そのため、作成前に見本を確認したり、方向性をしっかりすり合わせたりすることを大切にしています。自分なりに、初日は内容を理解して方向性を決め、二日目に集中して作ることで、複数案がスムーズに出ることが多いです。一晩寝かせることで頭が整理される感覚があります。

紙の魅力とは

急いでメモを取りたいとき、紙の使いやすさを実感します。スマホを立ち上げるより、紙にさっと書ける手軽さは大きな魅力です。また、資料をデジタルで管理すると省スペースですが、ファイルを探す手間がかかったり、画面を占有して見づらく感じたりすることもあります。紙でファイリングされた資料は存在感があり、記憶にも残りやすいと感じます。紙とデジタル、それぞれの良さを活かしながら、上手に使い分けていきたいと思っています。

あなたの「作りたい」を お手伝い！

〔印刷物〕

- 会報・広報誌
- 冊子・パンフレット
- チラシ
- フライヤー
- ポスター
- 名刺・カード
- はがき・圧着はがき
- 封筒
- 伝票・帳票
- 商品券
- 記念誌
- 情報誌
- 偽造防止印刷
- 自費出版

〔デジタル制作〕

- ウェブサイト
- SNS 広告

〔屋外広告〕

- 看板・サイン
- のぼり・横断幕

〔ノベルティ〕

- オリジナルメモ帳
- オリジナルノート
- カレンダー
- クリアファイル
- ふせん・シール
- うちわ

〔パッケージ〕

- 紙箱
- 包装紙・紙袋
- ビニールバッグ
- エコバッグ

〔各種サービス〕

- 編集・原稿作成
- 写真撮影
- イラスト作成
- ロゴ作成
- 仕分け・配送
- 宛名印字
- 封入封緘
- アンケート集計

